

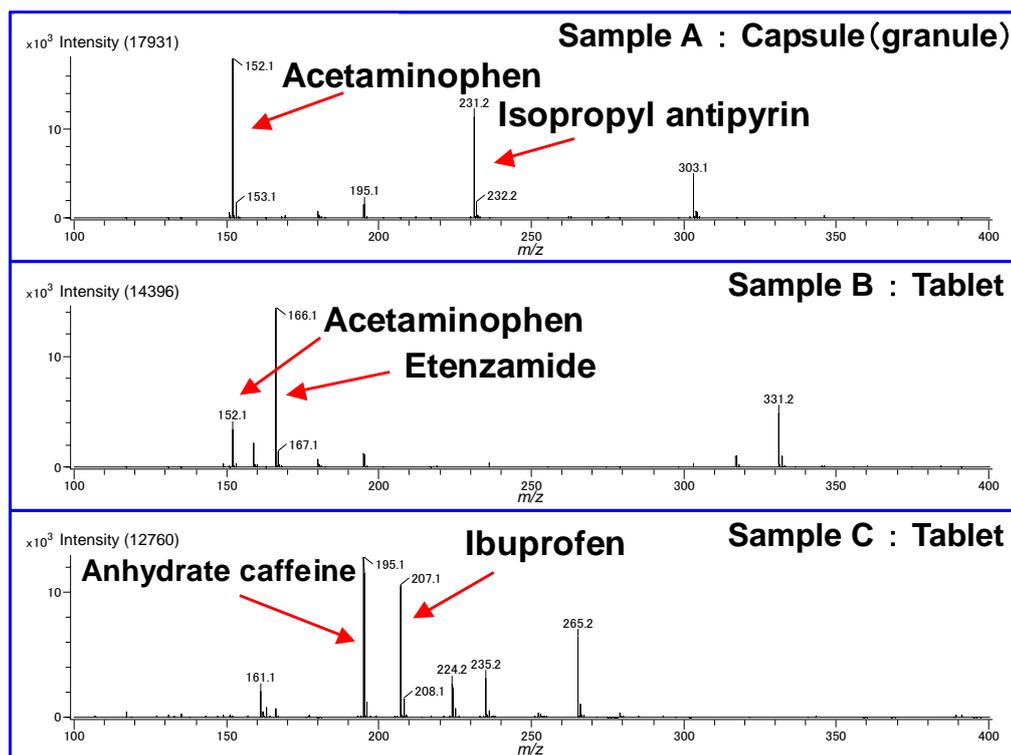
～ Application Note for DART ～

## 市販風邪薬 3 種の直接分析

インフルエンザをはじめとして、風邪の原因となるのはウイルスである場合が多い。しかしながら、このウイルスに直接有効な薬は限られており、一般に医療機関において処方される風邪薬とは、風邪に対して起こる諸症状を緩和するために、各症状に応じて処方される対症療法薬である。

一方、市販されている一般的な風邪薬は総合感冒薬と呼ばれ、解熱・鎮痛成分や抗ヒスタミン成分、漢方、ビタミン等、多くの成分が配合され、諸症状を全体的に和らげる目的で使用される。

今回、市販風邪薬に配合される解熱・鎮痛成分として代表的なイソプロピルアンチピリン、エテンザミド、イブプロフェンをそれぞれ含有する 3 種の検体について、DART (Direct Analysis in Real Time) を用いて直接分析を行い、各種有効成分の検出を行った結果を紹介する。



Mass spectra of medicines for colds

### 【結果】

各サンプルにおいて有効成分の即時検出が可能であった。また、サンプル B および C については、錠剤をピンセットで挟み直接分析を行った。サンプル A に関してはカプセルであるため、カプセル内部の顆粒を薬包紙に包み、薬包紙ごと直接分析を行った。顆粒・粉体等を紙・布などに包み、直接分析可能である点は DART の特筆すべき特長である。



Analysis of the granule (Sample A)